能楽研修発表会

第十八回 青翔会

平成三十一年
三月十二日 火
午後一時開演（正午開場）
全席指定

舞囃子【金春流】弓八幡

シテ　安達　裕香
笛　平野　史夏
小鼓　岡本はる奈
大鼓　佃　良太郎
太鼓　金春　國直
地謡　中村　昌弘
本田　芳樹
本田布由樹
政木　哲司

舞囃子【観世流】屋島

シテ　角　幸二郎
笛　小野寺竜一
小鼓　寺澤祐佳里
大鼓　亀井　洋佑
地謡　井上裕之真
関根　祥丸
木月　宣行
観世　芳伸
浅見　重好

舞囃子【喜多流】小塩

シテ　谷　友矩
笛　髙村　裕
小鼓　飯冨　孔明
大鼓　亀井　洋佑
太鼓　澤田　晃良
地謡　友枝雄太郎
友枝　真也
佐々木多門
塩津　圭介

狂言【和泉流】佐渡狐

シテ／佐渡の国の百姓　上杉　啓太
アド／越後の国の百姓　河野　佑紀
小アド／奏者　能村　晶人
後見　野村　万蔵

能【宝生流】海人

前シテ／海人
後シテ／龍女　佐野　玄宜
子方／房前大臣　水上　嘉
ワキ／従者　矢野　昌平
ワキツレ／従者　村瀬　提
ワキツレ／従者　村瀬　慧
アイ／浦人　野村万之丞
笛　熊本俊太郎
小鼓　曽和伊喜夫
大鼓　柿原　孝則
太鼓　姥浦　理紗
後見　宝生　和英
大友　順
地謡　田崎　甫
金森　隆晋
辰巳大二郎
小林　晋也
高橋　亘
今井　泰行
辰巳満次郎
水上　優

入場料金（全席指定）

正面／1,500円　脇正面／1,000円　中正面／700円
学生：脇正面／700円　中正面／500円

発売日

電話・インターネット予約開始／2月9日（土）午前10時より
窓口発売開始／2月10日（日）〈チケット売場 午前10時～午後6時〉

beyond 2020　ユネスコ無形文化遺産　UNESCO Intangible Cultural Heritage

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会　国立能楽堂

能楽研修発表会

第十八回 青翔会

青翔会は、国立能楽堂能楽（三役）研修生をはじめとする若手能楽師の日ごろの研鑽の成果を発表する公演です。次代を担う若手能楽師たちの舞台を、是非ご覧ください。

舞囃子 弓八幡（ゆみやわた）

御宇多院の臣下が、男山にある石清水八幡宮の初卯の神事に訪れると、そこに天下泰平の象徴である、袋に収めた弓矢を持つ老人が現れます。その正体は、末社である高良の神でした。

御世を言祝ぐ脇能で、若々しい高良の神霊が八幡神の縁起を語り、神徳を讃え、颯爽と「神舞（かみまい）」を舞います。

舞囃子 屋島（やしま）

屋島の浦を訪れた旅の僧は、漁夫の老人に一夜の宿を借ります。漁夫は、源平の屋島の合戦を物語ると、自分は源義経であると言って去っていきます。

やがて姿をあらわした義経の霊は、合戦の最中に海中に取り落とした弓を取り返した話（「弓流し」）や、能登守教経との激戦の様子を語ると、夜明けとともに消えていくのでした。

舞囃子 小塩（おしお）

京の西、大原野にある桜の名所・小塩山。花見に興じる人々の元に、桜の枝を担いで老翁がやって来ます。老翁は、『伊勢物語』の「大原や小塩の山も今日こそは神代の事も思ひ出づらめ」という在原業平の歌のいわれを人々に教えながら昔を懐かしみ、消えていきます。

月夜に現れた在原業平の霊は、昔の恋の遍歴を思い返しながら、「序ノ舞（じょのまい）」を舞います。

狂言 佐渡狐（さどぎつね）

年貢を納めに京へ上った佐渡の百姓と越後の百姓は、「佐渡に狐はいるかどうか」で口論となります。佐渡の百姓は「佐渡に狐はいる」と言い張り、刀を賭けます。が、佐渡に狐はおらず、困った佐渡の百姓は、領主の奏者に袖の下をつかませて、狐の姿形を聞き出しました。

さて、いよいよ裁断の日。越後の百姓は、佐渡の百姓に狐の姿形を問い詰めます…

能 海人（あま）

大臣藤原房前は、亡き生母の故郷である讃岐・志度浦へやって来ます。その地の海人に、母の死の経緯を尋ねると、唐土から渡り、龍神に奪われた宝珠にまつわる話を聞かされます。

志度浦の海人であった房前の母は、宝珠奪還のためこの地に来た藤原淡海と契りをかわしました。そして、淡海から宝珠を取り戻すよう頼まれます。その代わり、淡海は二人の間の子を自分の跡継ぎにすると約束したのです。海人は命を懸けて、宝珠を取り戻しました。

やがて、この物語を語った海人は、自分こそ房前の母の霊であると言って海中へ消えていきます。

房前が母の霊を弔っていると、法華経の功徳により成仏した母は、龍女の姿となって現れ、華麗な舞（「早舞（はやまい）」）を舞うのでした。

平成三十一年
三月十二日 火
午後一時開演
（正午開場、午後四時終演予定）

＊字幕表示はありません。

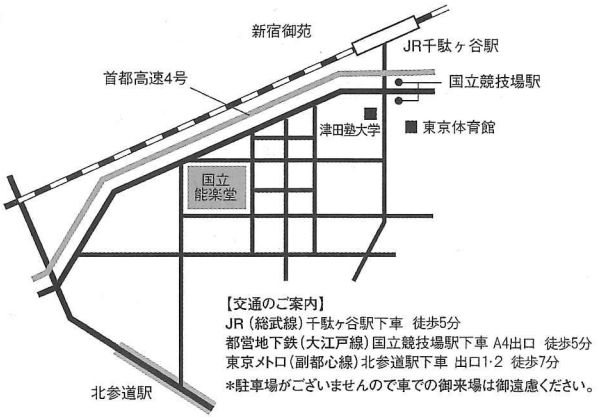
入場料金（全席指定）
正面／1,500円　脇正面／1,000円　中正面／700円
学生：脇正面／700円　中正面／500円
※障がい者の方は２割引きです。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日
電話・インターネット予約開始／２月９日（土）午前10時より
窓口発売開始／２月10日（日）午前10時より
〈チケット売場 午前10時～午後６時〉※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

電話
国立劇場 チケットセンター（午前10時～午後６時）
0570-07-9900　03-3230-3000［一部IP電話等］

インターネット
パソコン　http://ticket.ntj.jac.go.jp/
スマートフォン　http://ticket.ntj.jac.go.jp/m
※詳細は、上記ホームページをご覧ください。

●プレイガイド＝チケットぴあ　0570-02-9999　http://pia.jp/
e＋（イープラス）　http://eplus.jp/



【交通のご案内】
JR（総武線）千駄ヶ谷駅下車　徒歩5分
都営地下鉄（大江戸線）国立競技場駅下車 A4出口　徒歩5分
東京メトロ（副都心線）北参道駅下車 出口1･2　徒歩7分
＊駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮ください。

beyond 2020

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会
国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1
TEL. 03-3423-1331（代）
https://www.ntj.jac.go.jp/

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。●開演中は、時計等のアラーム音や携帯電話の電源をお切りください。●開演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。